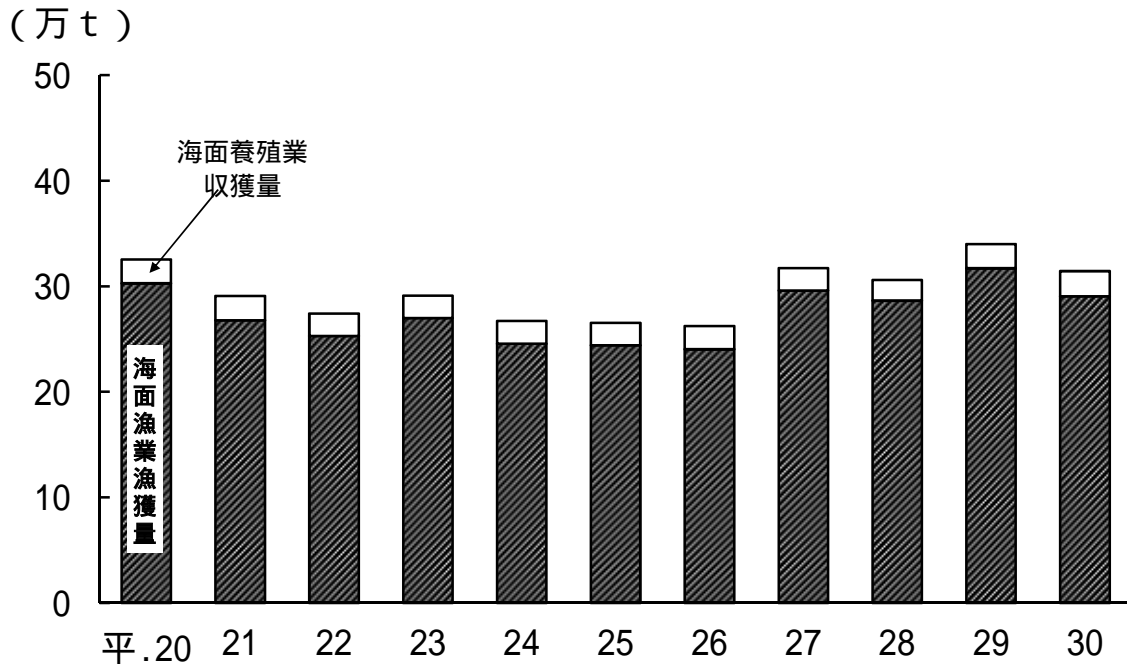


水産業の概況

海面漁業生産量の推移



農林水産省『漁業・養殖業生産統計年報』

< 平成29年の概況 >

平成29年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は 34万173t で、28年に比べ3万4,214t (11.2%) 増加しました。

海面漁業の漁獲量は 31万 7,069t で、28年に比べ 3万579t (10.7%) 増加しました。

これは、いわし類、いか類等で減少したものの、さば類、あじ類、ぶり類等が増加したためです。

また、海面養殖業の収穫量は 2万 3,104t で、28年に比べ3,635t (18.7%) 増加しました。これは、主にくろまぐろやぶり類が増加したためです。

< 平成30年の概況 >

平成30年の長崎県における海面漁業・養殖業生産量は 31万4,343t で、29年に比べ2万5,830t (7.6%) 減少しました。

海面漁業の漁獲量は 29万591t で、29年に比べ 2万6,478t (8.4%) 減少しました。これは、主にあじ類、いわし類、ぶり類が減少したためです。

また、海面養殖業の収穫量は 2万 3,752t で、29年に比べ648t (2.8%) 増加しました。これは、のり類は減少したものの、主にぶり類やふく類が増加したためです。

(九州農政局統計部)